



創造

どの組織にも強みと弱みがあると言われるますが、本校の強みの一つに職員間のチームワークの良さが挙げられます。職員一人一人の持ち味を生かし、互いの得意分野（凸）と苦手分野（凹）をうまく組み合わせながら、課題解決（ジグソーパズルの完成）に向けて協働型組織をつくり取り組んでいるのが本校の特徴です。今号では「やさしく、かしこく、たくましく」という本校の校訓〈目指す児童像〉に迫るための各チームの具体策について紹介します。



やさしく・・・相手を思いやるやさしい子ども【こころサポートプロジェクトチーム】

担当者 【◎藤崎・前田・百原・山崎・津江・寺川・鬼塚・迫本・石田】

- ・自己存在感や連帯感をはぐくむ活動の推進・・・委員会活動、異学年交流での絆づくり等
- ・いじめや不登校、問題行動等の未然防止・・・教育相談（家庭）、児童連絡会による早期対応等
- ・集団生活におけるマナーの育成・・・**さ**わやかな挨拶、**し**ずかに歩行、**き**ちんとスリッパ並べ

⇒主に、相手の気持ちに思いを巡らすことができる**共感力**の育成に重点を置きます。

かしこく・・・自分で考え、自ら学ぶかしこい子ども【まなびサポートプロジェクトチーム】

担当者 【◎吉永・中田・設楽・伊藤・福田・塩森・平野・藤原・才荷】

- ・わかった、できたと感じる授業の研究・・・「まとめ」と「ふり返し」の時間の確保等
- ・主体的な学習態度の育成・・・実態に合った家庭学習の課題設定、読書のすすめ等
- ・ねらいに迫る学び合いの充実・・・**さ**まざまな意見を聞き、**し**っかり考え、**き**ちんと伝える

⇒主に、わかる、できるまで学習に取り組むことができる**探究力**の育成に重点を置きます。

たくましく・・・命を大切にし、心身ともにたくましい子ども【からだサポートプロジェクトチーム】

担当者 【◎小崎・田中・奥添・岩本・坂本・山口・榮永・本井・蓑田】

- ・自分の伸びを感じる体育授業の研究・・・「めあて」の設定と活動の記録等
- ・命を守る自助力・共助力の育成・・・防災学習や危険予測学習の日常化等
- ・保護者等との連携の強化・・・**さ**っぱり目覚め、**し**っかり食べて、**き**ちんと眠る

⇒主に、他者と連携しながら行動することができる**協働力**の育成に重点を置きます。



このように、本校では学級担任を「縦軸」、各プロジェクトチームを「横軸」として常にクロスさせながら、教育活動の質の向上を目指し活動していきます。ただ、組織体をより強固にするためには保護者や地域の皆様のサポートも必要です。建築物を補強する筋交いのように「斜め」から支えていただきますと心強いです。



家庭生活の様子（パート2）

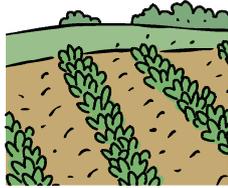
こんな声が届きました！！



八十八夜の日に、おばあちゃんの家にお茶つみに行きました。茶畑に行ってみると、とてもいい香りがして、まるでお茶の森のようでした。お茶をつむのはたいへんだったけど、ジャングルの中みたいで楽しかったです。〈3学年児童〉

今日は、ひさしぶりに友達と先生に会えました。とても元気そうでよかったです。もっといっしょにいたかったけど、3時間授業と少なかったのが残念でした。また明日から休みになるので悲しいけど、コロナに負けないように頑張ります。〈4学年児童〉

こどもの日に、畑のしごとをしました。まず、しそを植えるために石をとりました。次に、土を平らにしました。すると、おばあちゃんが「じょうずだね」と言ってくれました。ほめられてとてもうれしかったです。〈3学年児童〉



今日、買ってきたテントをお父さんといっしょに庭に立てました。15分ぐらいかかりました。できあがった後、お父さんは本を読みました。私は宿題をしました。今度は、いどこやはどこをよんで、みんなで楽しみたいです。〈4学年児童〉

今日、弟とお母さんと私でシフォンケーキを作りました。一番難しかったのは卵黄と卵白に分けるところです。卵白に卵黄が入るとメレンゲがうまく固まらないからです。その後は型に入れてオーブンで30分ほど焼いて完成です。たくさん作ったのでおばあちゃんにおすそ分けしました。おいしかったです。〈5学年児童〉

今年は、2日からゴールデンウィークなのに新型コロナウイルスの影響で外出があまりできませんでした。でも、よく考えてみると当たり前のことだけ「友達、地域の方、町の人などたくさんの人たちが助かる」と思いました。「みんな家にいましょう！！」〈5学年児童〉

卵黄と卵白を分けたり、メレンゲを作ったりと、いい経験をしましたね。自分で作ったケーキの味は格別だったでしょう。おばあちゃんも喜ばれたでしょうね。
(食育担当 田中先生より)

いつもと違うゴールデンウィークになりましたが、自分のため、人のために考動できていること、さすがです。健康チェックカードを見ても、生活リズムを意識して過ごしていることがわかりうれしく思いました。
(保健担当 小崎先生より)



善意に感謝！！



臨時休校中、合計4日にわたり芦北町給食センターの調理員の皆様が校舎内外の環境整備のために来校されました。手洗い場を磨いたり、花壇や運動場周辺の草取りをしたりなど、学校再開時に子どもたちが気持ちよく登校できるようにとの思いを込めて丁寧に作業をしてくださいました。

暑い中、ご協力いただき心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

20日（水）から給食が再開されます。子どもたちの学校生活を支える栄養満点の給食をつくってまいります。